

日本応用心理学会

第91回大会プログラム

応用心理学の近未来を考える
—基礎研究と社会実装の並走を目指して—



2025年8月26日(火)～27日(水)
東洋大学 白山キャンパス

日本応用心理学会第91回大会 開催のご挨拶

日本応用心理学会第91回大会は、8月26日(火)・27日(水)に、東洋大学白山キャンパス(東京都文京区)にて、初めて開催させていただくことになりました。第91回大会のテーマは、「応用心理学の近未来を考える:基礎研究と社会実装の並走を目指して」です。

東洋大学は、1887(明治20)年に井上円了により「哲学館」として誕生し、1906(明治39)年に「私立東洋大学」と改称され、1928(昭和3)年には大学令により文学部を設置する大学となりました。そして、1949(昭和24)年に新たなスタートをきり、現在、14学部と大学院15研究科を擁する総合大学となっています。社会学部社会心理学科のある白山キャンパスは、都営三田線白山駅や東京メトロ南北線本駒込駅などから、徒歩5分程度の場所にあります。インバウンドなどの影響か、都内ホテルの料金は驚くほど高くなっておりませんが、いずれの場所の宿泊を選ばれてもキャンパスへのアクセスは容易かと思えます。一般研究発表についてはポスター発表のみとし、学部生の教育発表や自主企画ワークショップも募集いたします。両日、アカデミアと社会との交流を目指す大会企画シンポジウムを開催し、この度の大会テーマについて皆様と大いにディスカッションが出来ればと考えております。初日の懇親会は本学食で行う予定です(何でもあるけどオリジナルが無い東京での大会ですので、会員皆様からの美味しいお心遣いを期待しているところでもあります)。大会実行委員や大学院生の力をお借りして、不備の無いよう準備を進めたいと思っております。参加して良かったと実感していただける大会にしたいと考えておりますので、どうぞ奮ってご参加のほどよろしく願いいたします。

日本応用心理学会第91回大会委員長
桐生正幸(東洋大学社会学部 教授)



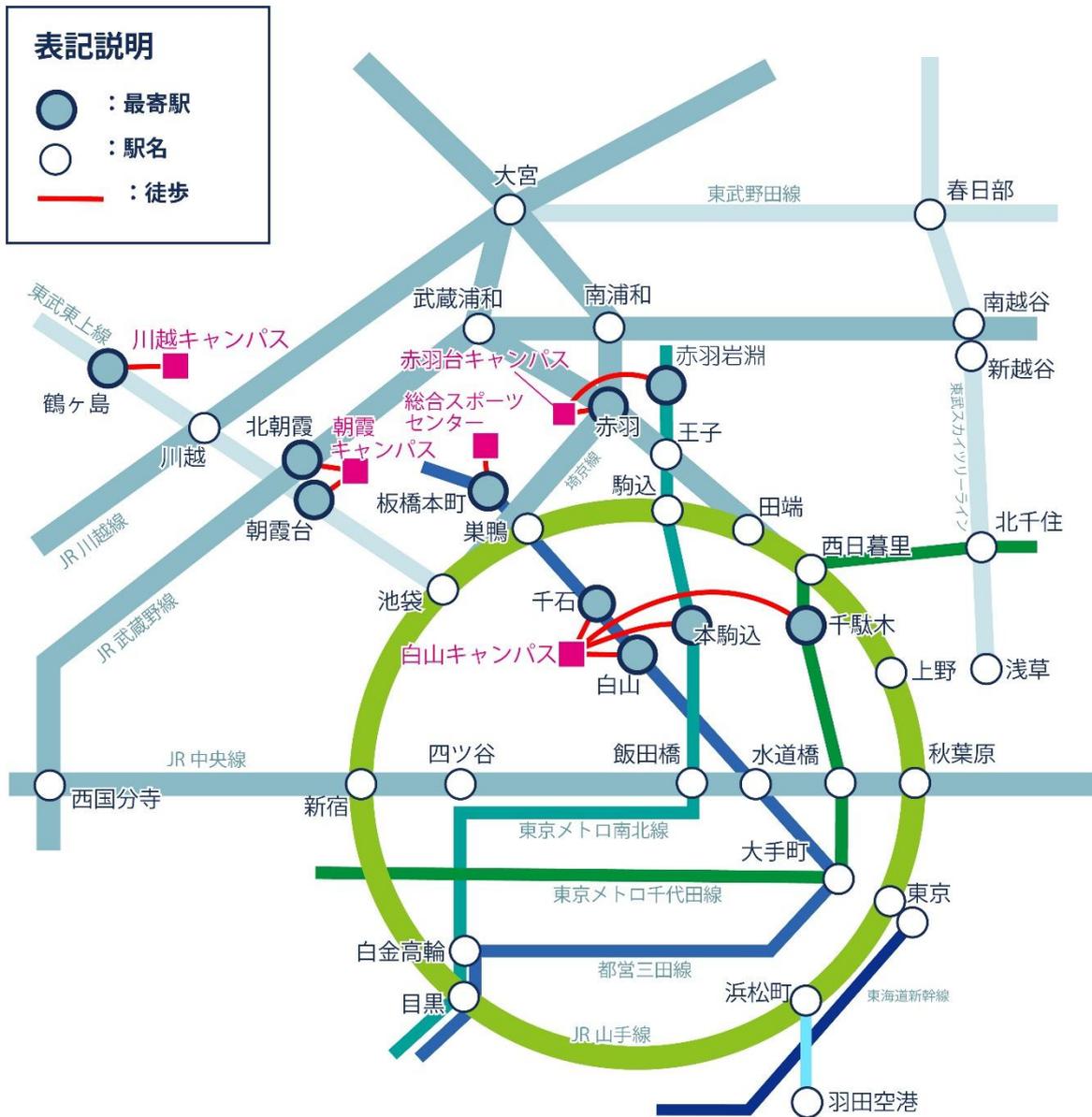
AUG. 26-27, 2025
The 91st Annual Congress of
Japan Association of Applied Psychology
TOYO UNIVERSITY



交通アクセス

最寄駅

- 白山駅 (都営地下鉄三田線) 徒歩 5 分
- 千石駅 (都営地下鉄三田線) 徒歩 8 分
- 本駒込駅 (東京メトロ南北線) 徒歩 5 分
- 千駄木駅 (東京メトロ千代田線) 徒歩 15 分



キャンパスマップ

〒112-8606

東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学白山キャンパス



白山キャンパス内入構手続き

東洋大学白山キャンパスに入校する際に、予め大会準備委員会よりお送りしたQRコードを携帯電話の画面や印刷物にて、各入口の係員にご提示いただければ、氏名などの記載無しに入構が出来ます。QRコードは、大会開催が近づきましたら、事前予約の方々にメール配信いたします。当日参加の方で、予めQRコードをお持ちでない方は、各入口においてご氏名ご所属を予定の要旨に記載してから入構してください。

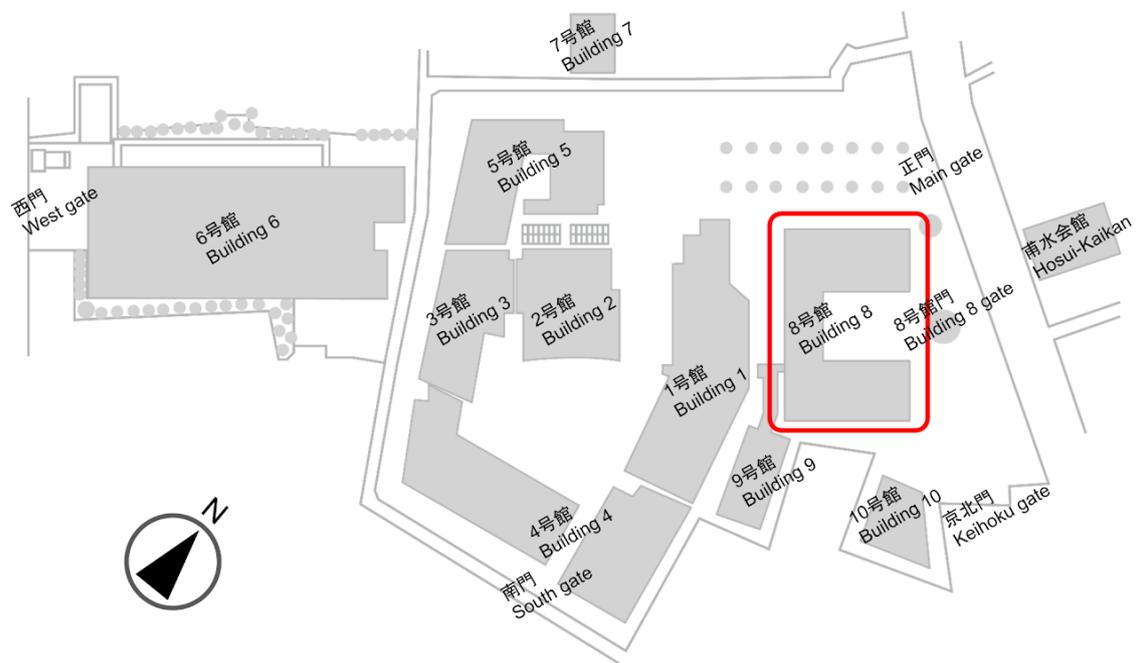
大会参加の手続き

東洋大学白山キャンパス8号館地下1階にて、諸々の大会参加に関する受付を行います。

クローク・大会事務局

8号館隣の1号館地下1階1B12教室が、クロークとなっています。また、大会事務局も同じ部屋です。

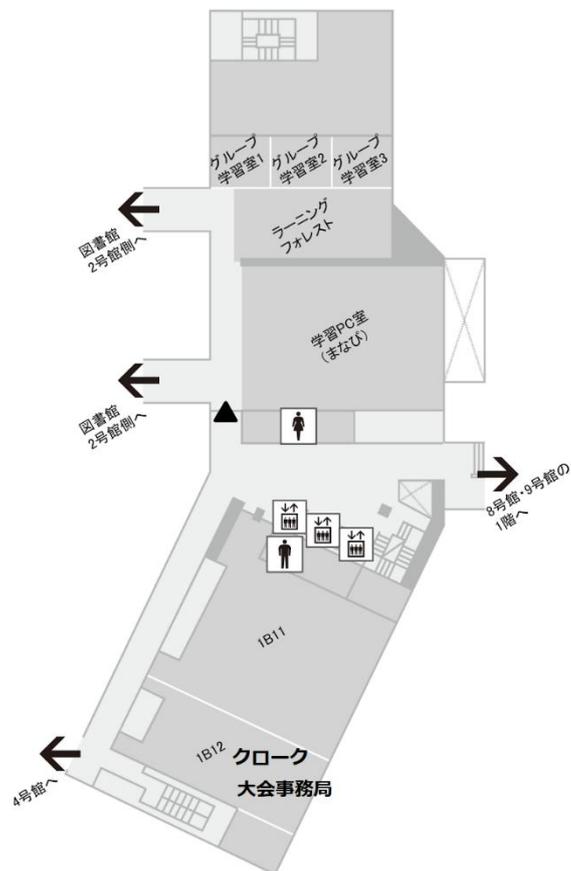
白山キャンパス全体図



8号館 地下1階(受付, 大会会場等)



1号館 地下1階 IB12 教室(クローク, 大会事務局)



大会参加者へのご案内

【大会参加者へのご案内】

[1] 大会受付

日時： 2026年8月26日(火) 9:00～18:30

2027年8月27日(水) 9:00～15:30

場所：東洋大学白山キャンパス 8号館 地下1階ホール

【参加証】

大会期間中、会場内では参加証をご着用ください。

【名誉会員の方】

名誉会員の方は、受付の「総合案内」にお立ち寄りください。名誉会員の方は、大会参加費、発表費、研修会費、懇親会費はすべて無料です。また、大会参加時に発表論文集を1冊贈呈致しますのでお受け取りください。

【事前予約参加の方】

事前予約をされている方は、「事前予約参加者受付」にお立ち寄りください。参加証と領収証と名札入れをお渡しします。大会期間中は参加証を名札入れに入れ、常に身につけてください。発表者(連名発表者を含む)、ワークショップの発表者・企画者、論文集購入者には、論文集をお渡し致します。非会員の連名発表者の参加証・領収証と発表論文集は、責任発表者の方にまとめてお渡しします。

【当日参加の方】

当日参加の方は、「当日参加受付」にお立ち寄りください。当日参加の方は、参加申込票に必要事項をご記入のうえ、大会参加費を添えて「当日参加受付」にお申し込みください。名札入れ、参加証および領収書をお渡し致します。大会期間中は参加証を名札入れに入れ、常に身につけてください。

大会関係の諸費用(当日納入)について

	会員		非会員	
	大会参加費	一般会員・終身会員	7,000円	一般
	院生会員	3,000円	大学院生	3,000円
	学生会員	2,000円	学部学生	2,000円
研修会費		1,000円		1,500円
論文集代	個人	6,000円		6,000円
	期間	8,000円		8,000円
懇親会費	一般会員・終身会員	6,000円	一般会員・同伴者	6,000円
	院生会員・学生会員	3,000円	大学院生	4,000円
	名誉会員	招待	学部学生(教育発表含)	4,000円

【クローク】

8号館隣の1号館地下1階 1B12 教室が、クロークとなっています。お荷物をお預かりする際に引換券をお渡しします。引換券をなくされた場合、確認のため身分証の提示をお願いすることがあります。

なお、PC 等の高価な電子機器類を含む貴重品はお預かりすることはできません。

*クローク受付期間:8月26日(火)・27日(水)9:00~17:00

【2】総会

日時:8月26日(火) 11:20~12:50

場所:東洋大学 8号館 8B11 教室

重要な議題が予定されておりますので、会員の方はご出席ください。なお、総会では、昼食をご用意しております。

【3】懇親会

日時:8月26日(火) 18:10~19:30

場所:東洋大学 8号館地下

懇親会では、第89回の優秀大会発表賞受賞者の方々のスピーチなどが企画されております。年に一回の学会員の交流の場でもあり、今回は企業の方々との新たな共同研究の出会いが期待される場ともなっております。当日参加もありますので、奮ってご参加ください。

なお、もし地元のお酒などご提供いただける方がいらっしゃれば、大会受付時に担当者にお渡しください。どうぞよろしくお願いいたします。

【4】優秀大会発表賞

今大会でも優秀大会発表賞を選考します。選考対象はポスター発表のみで、教育発表、自主企画ワークショップは含まれません。発表論文集原稿、当日の発表、質疑応答などを総合的に判断して、優秀な研究発表をご推薦下さい。投票は、8月26日(火)と27日(水)に行うことができます。ポスター発表の投票用紙は、受付で配布します。会場に設置してある投票箱に投函してください。発表者(連名発表者を含む)は、ご自身の発表への投票はできませんので、ご注意ください。

【5】その他

(a) 8号館地下1階にて、企業展示および書籍販売を行っております。どうぞお立ち寄りください。

(b) 休憩所は8号館地下1階です。お飲みもの、お菓子をご用意しております。

(c) 館内すべて禁煙です。

(d) 会場内では、携帯電話はマナーモードにしてください。

(e) ファックス、宅配便は近隣のコンビニエンスストアをご利用ください。

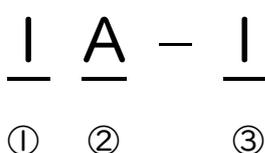
(f) 8月26日(火)、27日(水)ともに6号館地下のフードコートにある**鉄鍋屋 Tokyo Kitchen**のみ11:00-15:00 営業しています。学内のコンビニエンスストアも休業しておりますのでご注意ください。

- (g) 大会本部は 1 号館地下 1 階 1B12 教室です。大会中の緊急連絡は、こちらにお願いいたします。
- (h) 学内の駐車場はご利用いただけません。お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
- (i) 東洋大学の学内無線 LAN をご利用になれます。追って、接続方法をお知らせします。

ポスター発表者へのご案内

1. 8 号館 地下 1 階ホールにて行います。

■ポスター番号の見方



- | | | | |
|---|-------|-----------|-----------|
| ① | 大会開催日 | 1:26 日(火) | 2:27 日(水) |
| ② | 会場 ID | A | B C |
| ③ | 発表番号 | 奇数:前半発表 | 偶数:後半発表 |

- 2. ポスター発表会場内にポスター発表用受付を設けます。セッション開始の 10 分前までに受付へお越しください。ボードに掲示するための画鋏と責任発表者用のリボンは、その際にお渡しします。
- 3. ポスターを掲示するボードには、それぞれに発表番号が付いています。発表者は発表時間までに、持参したポスターをご自分の発表番号の付されたボードに掲示してください。ポスターパネルに貼るポスターのサイズは、後日お知らせいたします。ポスター上部には発表題目、氏名および所属を明示して下さい。
- 4. ポスターセッション全体の時間は 90 分です。演題番号が奇数の発表者はセッション前半の 45 分、偶数発表者はセッション後半の 45 分が在籍責任時間です。この時間中に係員が出欠の確認に伺います。
在籍責任時間が終わっても、セッション終了時刻まではポスターの掲示をしておいてください。ポスターの撤去は、発表者がセッション終了 10 分後までにおこなってください。
- 5. ポスター発表は、論文集への論文掲載、当日のポスター掲示、および在席責任時間の質疑応答への参加によって、公式発表とみなされます。

なお、本大会の企画として「教育発表」を設けています。大学学部学生が発表を行います。

ワークショップ企画者・発表者へのご案内

【企画者・発表者の方へ】

自主企画ワークショップは、1号館 2階の教室で行います。ワークショップ 1件の時間は 90分です。

1. 大会委員会でプロジェクターとノート PC (Windows10, PowerPoint 2016) を用意します。この PC をご利用の方は、セッション開始 10分前までに会場にお越しいただき、発表用ファイルのインストール作業と動作確認をお願いいたします。必ず上記の環境で動作するファイルをご用意ください。PCによるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。ご自身の持ち込み PC を利用される場合も、セッション開始前までに動作の確認をお願いいたします。会場には HDMI ケーブルをご用意いたします。電源アダプタや変換コネクタ等をご自身でご用意下さい。
2. 音声接続をご利用の方は、事前に大会委員会へご相談ください。資料を配付される方は、各自ご準備ください。会場での印刷はできません。配付資料は必ず事前にご用意ください。
3. 企画者・司会者の方は、フロアから質問や意見を述べられる方には、お名前とご所属を明らかにするようお伝えください。終了時間厳守でお願いします。

応用心理士研修会のご案内

【発表者の方へ】

応用心理士研修会は、1号館 2階の教室で行います。

時間は 75 分間です。応用心理学会企画委員会の担当者が進行を担当しますので、講義中、ご不明の点などがあればご相談ください。

大会委員会でプロジェクターとノート PC (Windows10, PowerPoint 2016) を用意します。この PC をご利用の方は、開始 10分前までに会場にお越しいただき、発表用ファイルのインストール作業と動作確認をお願いいたします。必ず上記の環境で動作するファイルをご用意ください。PCによるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。ご自身の持ち込み PC を利用される場合も、セッション開始前までに動作の確認をお願いいたします。会場には HDMI ケーブルをご用意いたします。電源アダプタや変換コネクタ等をご自身でご用意下さい。

音声接続をご利用の方は、事前に大会委員会へご相談下さい。

資料を配布される方は、各自ご準備の上、開始前に会場のスタッフにお渡しください。会場入口に資料を配置します。なお、会場での印刷はできません。配布資料は必ず事前にご用意ください。

大会企画・一般公開シンポジウム(第1日目)

【参加者の方】本シンポジウムは参加費無料も一般公開シンポジウムです。

この一般公開シンポジウムは、非学会員、一般の方、どなたでも参加できる参加費無料の公開シンポジウムとなっています。参加を希望なさる方は、事前に申し込みをされるか、当日、直接、会場にお越しください。事前申し込みの方法については、次の web

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/122294> をご覧いただき、ご確認ください。当日、手続きなしで会場に入れる参加証をお送りいたします。当日参加なされる方は、8号館前の受付にて記名を行って、地下1階の会場にお出で下さい。

また、シンポジウム終了後、第91回大会懇親会が、同じフロアにて開催されます。心理学者と企業のみなさんとの交流の場ともなり、新たな共同研究などの出会いが期待されると思います。奮ってご参加ください。懇親会参加費はお一人6,000円です。

なお、参加費無料は、本シンポジウムへの参加に限ります。ポスターセッションや他の企画に参加されたい方は、8,000円の参加費が必要となりますのでご注意ください。

第3回

参加無料

コンバーシングテクノロジー 研究大会

日時：2025/8/26(火) 15:00~17:45

場所：東洋大学 白山キャンパス

8号館地下1階8B11教室

及びオンライン(ハイブリッド開催)

近年の複雑化する社会課題に対して、単一分野の知見だけで解決することは困難になっています。このような課題の解決には、複数の異分野を収斂させる技術(コンバーシングテクノロジー)が重要となります。そこで、以下を目的としてコンバーシングテクノロジー研究大会を実施いたします。

- ・ デジタル技術と心理学の共同研究の礎を形成し、新たな研究領域を広げていくこと
- ・ 心理学者と企業や行政をつなぎ、心理学の社会実装を目指すこと

第3回となる今回の研究大会では各分野を代表する方々をお招きしご講演頂きます。研究会への入会はありませんので、ご興味のある皆様お気軽にご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

【プログラム】

- 15:00- はじめに(富士通 プロジェクトディレクター 相野剛史)
- 15:10- 「科学技術・イノベーション政策と総合知」
(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 永澤剛氏)
- 15:30- ご挨拶(日本応用心理学会理事長京都大学田中真介氏)
- 15:40- 「「総合知」に着目した科学技術・イノベーション政策のデザイン」
(科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー山本量枝子氏)
- 16:10- 「コンバーシングテクノロジーが拓く異分野融合の新地平」
(富士通フェロー(コンバーシングテクノロジー担当) 増本大輝)
- 16:30- 「カスハラ対策における心理学×AIの応用研究と実践」
(一般財団法人ココロバランス研究所島田恭子氏/富士通岩崎翔)
- 16:55- 「北海道大学人間知・脳・AI研究教育センター(CHARN)における異分野融合研究の取り組み」
(北海道大学人間知・脳・AI研究教育センター長 田口茂氏)
- 17:20- 質疑
- 17:30- 総括(東洋大学社会学部教授相生正幸氏)



【参加申込】

参加をご希望の方は、2025/8/25(月)までに、URLまたは右記QRコードよりお申し込みください。

(申込URL: <https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/122294>)
定員は250名です。定員になり次第、締め切らせていただきます。



主催：コンバーシングテクノロジー研究会(代表：東洋大学 相生正幸)
運営：富士通株式会社 コンバーシングテクノロジー研究所(担当：相野、吉岡、片桐、有馬)
お問い合わせにつきましては、contact-comtech01@ca.jp.fujitsu.comまでご連絡お願い致します。

大会企画シンポジウム（第2日目）

【企画者・発表者の方へ】

大会企画シンポジウムは、8号館 地下の8B11教室で行います。時間は90分間です。大会委員会の担当者も運営に携わります。

1. 大会委員会でプロジェクターとノート PC (Windows10, PowerPoint 2016) を用意します。この PC をご利用の方は、セッション開始 10 分前までに会場にお越しいただき、発表用ファイルのインストール作業と動作確認をお願いいたします。必ず上記の環境で動作するファイルをご用意ください。PC によるスライド発表のみとなります。その他の映像提示装置は使用できません。ご自身の持ち込み PC を利用される場合も、セッション開始前までに動作の確認をお願いいたします。会場には HDMI ケーブルをご用意いたします。電源アダプタや変換コネクタ等をご自身でご用意下さい。
2. 音声接続をご利用の方は、事前に大会委員会へご相談下さい。資料を配布される方は、各自ご準備の上、セッション開始前に会場のスタッフにお渡しください。会場入口に資料を配置します。なお、会場での印刷はできません。配布資料は必ず事前にご用意ください。
3. 企画者・司会者の方は、フロアから質問や意見を述べられる方には、お名前とご所属を明らかにするようお伝えください。

理事・監事の皆さまへ

以下の通り、理事会を開催します。理事、監事の皆さまはご参集のほどよろしくおねがいたします。

理事会

日時：2025年8月25日（月）15:30～17:00

場所：東洋大学白山キャンパス6号館1階、第3会議室

なお、理事会終了後に、同会議室にて懇親会を開催いたします。

常任理事会

以下の通り、常任理事会を開催いたします。常任理事の皆様は、ご参集のほどよろしくお願ひ申し上げます。

日時：2025年8月26日（火）13:30～14:30

場所：東洋大学白山キャンパス1号館2階 1201 教室

本大会へのご協賛をいただきました企業・団体等の皆さまへ

当日は、8号館地下1階の「総合案内受付」へお越しください。参加証とネームプレートをお渡しします。大会期間中は、参加証をネームプレートに入れ、常に身に付けてください。展示をご予定の企業・団体様におかれましては、会場へご案内します。

【障がいのある方へのサポート】

本大会の会場である東洋大学キャンパスは、バリアフリーが整ったキャンパス設計となっております。大会ご参加の方で、サポート等を必要とされる場合、大会受付事務局(j-aap@ibi-japan.co.jp)ないしは大会準備委員会(j.a.applied.psychology@gmail.com)までご連絡ください。サポート内容に応じて準備等を進めることとなりますので、可能な限り早めのご連絡をお待ちしております。

【託児案内】

本大会の会場である東洋大学キャンパスには、託児室が常備されておられません。そのため、託児を必要とされている方に対しては、専門業者に臨時託児所の設置を依頼して対応することとなります(有料)。専門スタッフの手配上、託児は完全予約制となりますので、必要となれる場合は、早めのご連絡をお待ちしております(大会受付事務局(j-aap@ibi-japan.co.jp)ないしは大会準備委員会(j.a.applied.psychology@gmail.com)までご連絡ください)。事前の申し込みがない場合は、ご利用できませんので、ご了承ください。

なお、本大会のポスター会場は休憩所と同じ大ホール内にて行われ、大会シンポジウムや自主企画シンポジウム会場も大講義室での開催となっていることから、余裕をもってお子様との同伴参加が可能となっております。また、一時的に個室などが必要となった場合は、スタッフにお声掛けいただければ、部屋などを準備できますのでご安心ください。

大会についてのお問合せと連絡先

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町518 司ビル 3F IBI内
日本応用心理学会大会受付事務局
TEL 03-5273-0473 FAX 03-3203-5964 E-Mail: j-aap@ibi-japan.co.jp
<https://jaap-2025.sakura.ne.jp/index.html>

*直接準備委員会へお問い合わせの際は、
応用心理第91回大会準備委員会 j.a.applied.psychology<at>gmail.com
へお願いします。<at>はアットマーク。

9:00 15 30	大会受付 9:00~18:30			
10:00 15 30 45 11:00 15	ポスター発表1A 8号館地下1階ホール 9:40~10:25前半 10:25~11:10後半	ポスター発表1B 8号館地下1階ホール 9:40~10:25前半 10:25~11:10後半	ポスター発表1C 8号館地下1階ホール 9:40~10:25前半 10:25~11:10後半	
12:00 15 30 45	総会 ：8号館地下1階 8B11教室 11:20~12:50 *昼食を準備しております			
13:00 15 30 45 14:00 15 30	ワークショップA 13:10~14:40 1号館2階 1202教室	ワークショップB 13:10~14:40 1号館2階 1203教室	応用心理士研修会A 13:10~14:25 1号館2階 1205教室	常任理事会 13:30~14:30 1号館2階 1201教室
15:00 15 30 45	大会企画・一般公開シンポジウム コンバージングテクノロジー研究会併催 「AI×心理学による社会実装の加速」 15:00~17:30 8号館地下1階 8B11教室			シンポジスト 控室1号館3階 1302,1303, 1304
17:00 15 30 45	懇親会 18:00~19:30 8号館地下1階 ホール			
18:00 15 30 45 19:00 15 30 45 20:00				

理事会
15:30~17:00
6号館1階
第3会議室

理事会懇親会
17:30-18:30
6号館1階
第3会議室

クローク・
大会事務局
1号館地下1階
1B12
9:00~18:30
休憩室・
企業展示室
8号館地下1階
ホール

9:00~18:30

第2日目 8/27 (水)

9:00 15 30	大会受付 9:00～16:30		
45 10:00 15 30 45 11:00 15	ポスター発表2A 8号館地下1階ホール 9:40～10:25前半 10:25～11:10後半	ポスター発表2B 8号館地下1階ホール 9:40～10:25前半 10:25～11:10後半	ポスター発表2C 8号館地下1階ホール 9:40～10:25前半 10:25～11:10後半
30 45 12:00 15	特別講演 篠田裕之先生 (東京大学) 11:20～12:20 8号館地下1階 8B11教室		
30 45 13:00			
15 30 45 14:00 15 30	ワークショップC 13:10～14:40 1号館2階 1202教室	ワークショップD 13:10～14:40 1号館2階 1203教室	応用心理士研修会B 13:10～14:25 1号館2階 1205教室
45 15:00 15 30 45 16:00 15 30	大会企画シンポジウム 「血液型性格心理学の再評価—大村政男生誕100年を記念して」 15:00～16:30 8号館地下1階 8B11教室		
45 17:00			

クローク・
 大会事務局
 1号館地下1階
 1B12
 9:00～17:00
 休憩室・
 企業展示室
 8号館地下1階
 ホール
 9:00～15:30

大会企画・一般公開シンポジウム

第1日

8月26日(火) 15:00~17:30 8号館地下1階 8B11 教室

一般公開シンポジウム

コンバーGINGテクノロジー研究会併催

「AI×心理学による社会実装の加速」

第3回コンバーGINGテクノロジー研究大会

<プログラム>

15:00- はじめに(富士通 プロジェクトディレクター 紺野 剛史)

15:10- 講演① 「科学技術・イノベーション政策と総合知」

(内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官 永澤 剛 氏)

15:30- ご挨拶 (日本応用心理学会 理事長 京都大学 田中 真介 氏)

15:40- 講演② 「「総合知」に着目した科学技術・イノベーション政策のデザイン」

(科学技術振興機構研究開発戦略センター 上席フェロー 山本里枝子 氏)

16:10- 講演③ 「コンバーGINGテクノロジーが拓く異分野融合の新地平」

(富士通 フェロー(コンバーGINGテクノロジー担当) 増本 大器)

16:30- 招待講演① 「カスハラ対策における心理学×AI の応用研究と実践」

(一般財団法人ココロバランス研究所 島田 恭子氏 / 富士通 岩崎 翔)

16:55- 招待講演② 「北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター(CHAIN)における異分野融合研究の取り組み」

(北海道大学 人間知・脳・AI 研究教育センター長 田口 茂 氏)

17:20- 質疑

17:30- 総括(東洋大学 社会学部 教授 桐生 正幸 氏)

第2日

8月27日(水) 15:00-16:30 8号館地下1階 8B11 教室

「血液型性格心理学の再評価」 — 大村政男生誕100年を記念して

企画者・司会 浮谷秀一(東京富士大学)

話題提供者 山岡重行(聖徳大学)

藤田主一(日本体育大学)

指定討論者 浮谷秀一(東京富士大学)

血液型について、大村政男が研究発表したのが、1984年に富士短期大学(現東京富士大学)で開催された日本応用心理学会第51回大会である。発表題目は「血液型性格学」は信頼できるかであった。この発表では、いくつかの調査などを踏まえて、思い込み効果の善用が得策ではないかと締めくくっている。この発表を皮切りに、30年間第30報まで発表が続けられている。第10報(1993年)から浮谷が、第22報(2005年)から藤田が研究に加わった。また、第75回大会(2008年)から第80回大会(2013年)まで自主ワークショップ「血液型による性格判断を信じる人はなぜ多いのだろうか」を実施した。今回は「血液型性格学」を再評価してみる。

自主企画ワークショップ

8月26日(火)

ワークショップA 13:00~14:30 1号館2階 1202 教室

交通社会の諸問題を解決する質的・個性記述的研究の現状と今後

企画者, 話題提供者	大谷 亮 (一財)日本自動車研究所
司会者, 話題提供者, 指定討論者	小菅英恵 (公財)交通事故総合分析センター
話題提供者・指定討論者	中西 誠 株式会社電脳
話題提供者	中野友香子 科学警察研究所

8月26日(火)

ワークショップB 13:00~14:30 1号館2階 1203 教室

カウンセリング、心理療法のアジアからの発信(6)

企画者	林 潔 Australian and NZ Student Services Assn
司会者, 話題提供者	加藤博己 駒澤大学
話題提供者	李同帰 北京大学
話題提供者	Nagongbiling 内モンゴル自治区国際蒙医病院
話題提供者	高橋良博 駒澤大学
指定討論者	高橋浩子 山手教育研究所

8月27日(水)

ワークショップC 13:10~14:40 1号館2階 1202 教室

重心動揺研究とワーキングメモリ

企画者	板垣文彦	国立病院機構 東京医療センター
司会者, 指定討論者	須永範明	日本大学
話題提供者	和田万紀	日本大学
話題提供者	鹿内菜穂	亜細亜大学

8月27日(水)

ワークショップD 13:10~14:40 1号館2階 1203 教室

スポーツ指導に身体接触は必要か?

企画者	権野めぐみ	名古屋葵大学
司会者	来田宣幸	京都工芸繊維大学
話題提供者, 指定討論者	伊藤将史	近江兄弟社高等学校
話題提供者	橋元真央	大阪教育大学
話題提供者	越智淳子	佛教大学

特別講演

8月27日(水) 11:20~12:20 8号館地下1階 8B11 教室

「触感テクノロジーは心の問題を解決できるか」

講演者: 篠田裕之先生

(東京大学新領域創成科学研究科複雑理工学専攻・教授)

司 会: 桐生正幸(東洋大学)

概要:

これまでのIT技術において、触覚は再現が難しいもの、というのが前提であった。そのため、人間への情報伝達の経路としては視聴覚が専ら使われ、触覚の活用は限定的であった。しかしその前提は近年変わりつつある。面倒な装置を身につけなくても、非接触のまま多様な触感を再現できる技術が現実となり、モノに直に手で触れたときの圧覚や、他者に触れられたときの心地よい感覚まで、一定の万能性をもって再現できるようになってきている。このような新たな感覚生成技術は、人間の生活を今後どのように変えていくであろうか。触覚の重要な特徴の一つは、メンタルに対して視聴覚とは異なる性格のアクセス経路を有していることである。触覚は、ホルモン分泌などを通して精神の安定や身体の健康と物理的にも関係しており、幼児期においては自己肯定感や倫理感の醸成など、人格基盤の形成のために不可欠な感覚であると考えられている。そのような触覚を、日々の人間の行為の中に適切に組み込むことができれば、人間のこころを良好な状態に保ち、その活動を強力に支援できる可能性がある。本講演では、触覚を活用するIT技術の新しい姿を提案しながら、想定される負の側面やその対処法についても議論する。

応用心理士研修会

研修会A

日程:8月26日(火) 13:00 ~ 14:15

講師:深澤 伸幸 氏(松蔭大学)

題目:応用心理学とエビデンス — 組織におけるヒューマンエラーの低減に向けて —

司会:上市 秀雄 氏(筑波大学)

心理学,とりわけ応用心理学においては社会との関係性が重視されます。一般に心理学においては分析研究が中心となっていますが,社会が求めるものはむしろ対策研究であり,研究結果が社会や組織においてどのように活かされるのか,という点が重視されます。

今回は「組織におけるヒューマンエラーの低減方法」をテーマとして取り上げ,お話しします。ここでは個人対策と組織風土という社会集団への2つの対策が中心となります。具体的にはヒューマンエラーの発生過程についてシミュレータ実験を通じて探り,ヒューマンエラーの発生過程を考えます(エラー行動という不可視の現象を可視化します)。次に個人対策としての危険感受性訓練法を実施した際の効果測定の研究をお話し,最後にヒューマンエラーをさらに低減させるための職場風土をより安全な方向へと向けるための研究をお話しします。

今回お話しさせていただきたい点は,客観的な事実やデータを基に分析研究を行うことに加え,対策研究までを視野に入れた研究を目指すことが,今後の応用心理学の発展に寄与するということです。ともすれば解釈中心の分析研究になりがちですが,若い研究者の皆様においてはエビデンスを基に対策研究へと踏み出していただきたいと思います。

研修会B

日程:8月27日(水) 13:10 ~ 14:25

講師:山本 勝則 氏(札幌保健医療大学)

題目:精神看護学とは何か:応用心理学との関係

司会:松本 友一郎 氏(京都女子大学)

心理学および応用心理学はこころ(心と行動)全般を扱う学問です。一方,精神看護学はこころの健康に関することを扱う学問です。

心理学は大きく基礎心理学と応用心理学に分けられ,応用心理学は具体的な状況・環境に人間心理のメカニズムを当てはめて考えるという意味で実践を志向する科学です。一方,看護学は実践の科学(アートでありサイエンスであると表現することもある)です。その一分野である精神看護学も実践の科学です。つまり,応用心理学と精神看護学とは,こころを扱うことと実践を志向するという意味で共通しています。

応用心理学を専門とする人にとって,「応用心理学」に関する上記の説明はほぼ自明のことだと思います。同様に精神看護学を専門とする人にとっては,上記の「精神看護学」に関する説明はほぼ自明のことでしょう。ところが,お互いの学問分野については,共通性があるにも関わらずほとんど理解していません。そこで今回は,応用心理学を専門とする先生方に「精神看護学」とは何かということを紹介したいと思います。

現在の精神看護学は,精神症状に対処する症状マネジメント,信頼関係に基づく人間関係論,生活上の問題を解決する問題解決型看護過程,健康な面や強みを生かすストレングスモデルとリカバリーから成り立っています。

ポスター発表 A1 8月26日(火)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

原理・認知・感情

- A1-1 「ダンス・リサイクル」に創造性はあるのか? —コンテンポラリーダンスにおける再構成的創造性の構造分析— ○ 来田宣幸 1 (1 京都工芸繊維大学)
権野めぐみ 2 (2 名古屋葵大学)
阪本麻郁 3 (3 四国学院大学)
- A1-2 東洋大学第12代学長:高嶋米峰の偉大性について 高嶋正士生誕100年を記念する:高嶋正士と偉大性心理学(4) ○ 藤田主一 (日本体育大学)
- A1-3 「〇〇らしさ」の認知プロセス —人間と深層学習モデルの意味処理順序の比較による検討— ○ 下條朝也 (コニカミノルタ株式会社)
- A1-4 A.H.マズローの言う「自己実現」が殆ど見られない世界について —現代の所謂「自己実現」社会との比較において— ○ 三島斉紀 (神奈川大学)

教育・発達・人格

- A1-5 ロール・プレイングの可能性 —教育現場をささえる取り組み③— ○ 時田学 (日本大学)
- A1-6 障害者の趣味活動とウェルビーイングの関連性:質的研究による考察 ○ 成井隆友 1 (1 日本大学大学院)
時田学 2 (2 日本大学)
- A1-7 中学校部活動への所属が心理社会的成長に与える影響の縦断的検討:教員の働き方改革と部活動の地域移行期における教育的意義の再評価 ○ 大門耕平 1 (1 東北学院大学)
駒田淑久 2 (2 近江兄弟社中学校)
来田宣幸 3 (3 京都工芸繊維大学)
- A1-8 接客業における顧客対応力尺度の開発 —カスタマーハラスメント対策施策の効果計測に向けて— ○ 岩崎翔 1 (1 富士通株式会社)
設楽一碩 1 (2 一般社団法人ココロ
バランス研究所)
吉岡隆宏 1 (3 東洋大学)
紺野剛史 1
島田恭子 2,3
桐生正幸 2,3
- A1-9 AI技術と心理学の融合によるカスタマーハラスメント対応教育プログラムの開発と実証 —コールセンター従業員を対象とした実証実験による教育効果の検証— ○ 紺野剛史 1 (1 富士通株式会社)
岩崎翔 1 (2 一般社団法人ココロ
バランス研究所)
設楽一碩 1 (3 東洋大学)
吉岡隆宏 1
島田恭子 2,3
桐生正幸 2,3

ポスター発表 AI・BI 8月26日(火)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

教育・発達・人格

- AI-10 カスタマーハラスメント体験 AI ツールを用いた訓練が従業員への対応力と主観的生産性に及ぼす長期的影響—コールセンターにおける実証研究—
- 設楽一碩 1 (1 富士通株式会社)
岩崎翔 1 (2 一般社団法人ココロ
吉岡隆宏 1 バランス研究所)
島田恭子 2,3 (3 東洋大学)
桐生正幸 2,3

臨床・福祉・相談

- BI-1 自傷行為の経験と解離傾向の関連の検討—一般健康
群との比較から
- 今井田貴裕 1 (1 仁愛大学)
小鹿柚祐 2 (2 人間環境大学心理
学部)
- BI-2 社会人以降の対人関係と孤独感—職場と職場外にお
けるハラスメント被害経験の影響—
- 藤後悦子 1 (1 東京未来大学)
大橋恵 1
井梅由美子 1
- BI-3 中学受験をめぐる親子の心理的葛藤②—中学受験経
験者に聞いた受験当時の親子関係と現在の幸福感—
- 井梅由美子 1 (1 東京未来大学)
藤後悦子 1
大橋恵 1
- BI-4 Social Networking Addiction Scale 日本語版の開
発—因子構造と信頼性の検討—
- 中谷智美 1 (1 名古屋産業大学)
福井義一 2 (2 甲南大学)
堀孝司 3 (3 甲南大学大学院)
- BI-5 大学生における行動的感情制御方略のスタイルと抑う
つ・不安の関連
- 村田康徳 1 (1 神戸大学大学院)
加藤佳子 1
- BI-6 単身中高年者における孤独感と時間的切迫感が将来
展望に及ぼす影響
- 清水佐紀 1 (1 和洋女子大学)
村山陽 2 (2 東京都健康長寿医療
センター研究所)

健康・看護・医療

- BI-7 カロリー・塩分量の栄養表示が選択行動に与える影響
- 杉山聡一 1 (1 京都工芸繊維大学
大学院)
幸田仁志 2 (2 京都工芸繊維大学)
来田宣幸 2
- BI-8 タッチングによる快体験の様相
~時間的変化と身体感覚・感情への気づき~
- 小西奈美 1 (1 明治国際医療大学)
内堀恵美 2 (2 京都橘大学)
大久保千恵 2

ポスター発表 B1・C1 8月26日(火)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

健康・看護・医療

- B1-9 花を用いた心理療法で撮影された生け花画像に関する
距離分析と印象評価分析の検討 ○ 内田誠也 1 (1 一般財団法人 MOA
田中英明 1 健康科学センター)
本村明嘉 1
- B1-10 介護士を対象としたソーシャルスキル尺度の階層構造
の検討 ○ 三宅沙侑美 1 (1 岡山大学)
山野洋一 2 (2 京都産業大学)
田中共子 1
- B1-11 コロナ禍を過ごしてきた大学生の友人ネットワークと大
学適応過程 —2019年度・2020年度入学者の TEM
図— ○ 上田仁 1 (1 愛知県庁)
松浦均 2 (2 星槎大学)
- B1-12 子育て期におけるワーク・ライフ・バランスの関連要因の
検討(1) 職場認知と子育て意識の関連 ○ 池田琴恵 1 (1 豊田工業大学)
谷口まち子 2 (2 南山大学)
- B1-13 子育て期におけるワーク・ライフ・バランスの関連要因の
検討(2) 仕事と子育ての両立のバランスの再構成のプ
ロセス ○ 谷口まち子 1 (1 南山大学)
池田琴恵 2 (2 豊田工業大学)

犯罪・社会・文化

- C1-1 留学生との交流における意思決定バランスと行動変容
ステージの関係 ○ 田中共子 1 (1 岡山大学)
山野洋一 2 (2 京都産業大学)
三宅沙侑美 1
- C1-2 「きょうだい児」に関する態度分析 —YouTube のコメ
ント欄を用いて— ○ 工藤咲 (立正大学大学院)
- C1-3 17歳身長分布での変動係数の経年増大等 —関与及
び影響する諸領域での応用心理学的考察— ○ 廣島克佳 (マンション管理士)
- C1-4 アタッチメントと他者のユーモアに対する魅力に関する
日中調査 ○ 中尾達馬 1 (1 琉球大学)
李同帰 2 (2 北京大学)
- C1-5 ありのまま信念が新規職場適応に与える影響 ○ 谷口淳一 (帝塚山大学)
- C1-6 マッチングアプリに対して大学生が持つ印象
—地域差と NIMBY の関連— ○ 井川純一 (東北学院大学)

ポスター発表 C1 8月26日(火)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

産業・交通・災害

- C1-7 若手リーダーはいつ「矛盾」を活かせるのか? —パ
ラドキシカル・リーダー行動に与える年上部下比率
の曲線効果と外向性の調整効果— ○ 竹内規彦 (早稲田大学商学学術院)
- C1-8 推し活の行動的側面の構造と推しの対象の関連に
ついて —探索的因子分析と多重コレスポンデンス
分析による検討— ○ 山村豊 1 (1 桜美林大学)
菅野智子 2 (2 立正大学)
大森哲至 3 (3 帝京大学)
田宮憲 3
- C1-9 推し活の心理的側面と行動的側面の関連について ○ 菅野智子 1 (1 立正大学)
—クラスター分析とコレスポンデンス分析による検討
— 大森哲至 2 (2 帝京大学)
田宮憲 2 (3 桜美林大学)
山村豊 3
- C1-10 あおり運転を誘発する運転行動の要因の検討 ○ 今井靖雄 1 (1 金沢大学大学院)
—STAXIを用いた怒り表出傾向との関連— 小島治幸 2 (2 金沢大学)
- C1-11 チーム・パラドックス・マインドセット尺度作成の試み ○ 新保智之 1 (1 早稲田大学大学院)
—パラドキシカル・リーダー行動の影響を中心に— 竹内規彦 2 (2 早稲田大学商学学術院)
- C1-12 フロー体験が導く主観的キャリア成功 —ポジティブ
感情と外部参照型目標難易度の媒介メカニズム— ○ 劉徳嘯 1 (1 デルテクノロジーズ株式
会社)
竹内規彦 2 (2 早稲田大学商学学術院)

スポーツ・生理

- C1-13 大学剣道男子部員の心理的特性と身体的特性の
研究 ○ 井上雄貴 1 (1 日本体育大学)
新里知佳野 1 (2 東京富士大学)
古澤伸晃 1
百田尚史 1
八木沢誠 1
軽部幸浩 2
藤田主一 1
- C1-14 大学剣道部員の心理的特性と身体的特性の研究 ○ 新里知佳野 1 (1 日本体育大学)
—男子部員と女子部員の比較— 古澤伸晃 1 (2 東京富士大学)
井上雄貴 1
百田尚史 1
八木沢誠 1
軽部幸浩 2
藤田主一 1

ポスター発表 C1 8月26日(火)

8号館地下1階ホール

在席責任時間： 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

スポーツ・生理

- | | | | | |
|-------|--|---|---|--|
| C1-15 | 大学柔道競技者が捉える「柔道の魅力」とは何か(1)
—因子分析の検討— | ○ | 岡崎祐史 1
大藤潤也 2
大関貴久 3
森脇保彦 4
軽部幸浩 5
藤田主一 6 | (1 武庫川女子大学)
(2 至誠館大学)
(3 東日本国際大学)
(4 国士館大学)
(5 東京富士大学)
(6 日本体育大学) |
| C1-16 | 大学柔道競技者が捉える「柔道の魅力」とは何か(2)
—男女間における魅力の差について— | ○ | 大藤潤也 1
岡崎祐史 2
大関貴久 3
森脇保彦 4
軽部幸浩 5
藤田主一 6 | (1 至誠館大学)
(2 武庫川女子大学)
(3 東日本国際大学)
(4 国士館大学)
(5 東京富士大学)
(6 日本体育大学) |
| C1-17 | 大学柔道競技者が捉える「柔道の魅力」とは何か(3)
—共起ネットワークによる分析— | ○ | 大関貴久 1
岡崎祐史 2
大藤潤也 3
森脇保彦 4
軽部幸浩 5
藤田主一 6 | (1 東日本国際大学)
(2 武庫川女子大学)
(3 至誠館大学)
(4 国士館大学)
(5 東京富士大学)
(6 日本体育大学) |
| C1-18 | 大学生における剣道の寒稽古が心理的能力に及ぼす可能性 | ○ | 百田尚史 1
古澤伸晃 1
新里知佳野 1
井上雄貴 1
八木沢誠 1
軽部幸浩 2
藤田主一 1 | (1 日本体育大学)
(2 東京富士大学) |
| C1-19 | 大学生の武道に対するイメージの研究 —初発反応の内容について— | ○ | 井上航人 1
軽部幸浩 1
藤田主一 2 | (1 東京富士大学)
(2 日本体育大学) |
| C1-20 | 大学生の武道に対するイメージの研究(2) —最も強いイメージについて— | ○ | 軽部幸浩 1
井上航人 1
藤田主一 2 | (1 東京富士大学)
(2 日本体育大学) |
| C1-21 | 日体大版剣道イメージ尺度(NIKS(ニックス))の作成(5) —信頼性について— | ○ | 古澤伸晃 1
新里知佳野 1
井上雄貴 1
百田尚史 1
八木沢誠 1
軽部幸浩 2
藤田主一 1 | (1 日本体育大学)
(2 東京富士大学) |

ポスター発表 A2 8月27日(水)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

原理・認知・感情

- A2-1 表情解析 AIによる入院患者の感情判定の試み ○ 稲野辺奈緒子 1 (1 東京女子医科大学)
松沼悟 2 (2 マクセル株式会社)
井上真郷 3 (3 早稲田大学理工学術院)
岩藤和広 4 (4 東京ネクスト南砂内科)
小川久貴子 1 (5 立正大学)
古屋健 5
- A2-2 待つだけの場面と待ち時間に労力を必要とする場面間の選択行動に及ぼす労力の効果 —ヒトのデータを中心として— ○ 久保尚也 (駒澤大学)

- A2-3 妬みは他者と共有されるのか —探索的検討— ○ 井上裕珠 (日本大学)

教育・発達・人格

- A2-4 どの世代が他者に「親になる資格」を求めるのか? —「親になる資格」の認識における世代差— ○ 扇原貴志 (龍谷大学)
- A2-5 ながらスマホ育児が幼児のインターネット依存に及ぼす影響 —3 波パネル調査による子どものインターネット利用時間の媒介効果の検討— ○ 松尾由美 (江戸川大学)
- A2-6 ポジティブイラショナルビリーフ尺度日本語版の作成(第2報) ○ 森本康太郎 (福井県立大学)
- A2-7 英国保育者がポジティブに評価する雇用の特徴 —管理職と保育者の視点の違いに注目して— ○ 山本 睦 (常葉大学)
- A2-8 自己批判の質的変容を促進する教育プログラム開発の試み —失敗後の動機づけを効果指標とした予備的検討— ○ 巻田晴香 1 (1 同志社大学大学院)
及川昌典 2 (2 同志社大学)
- A2-9 潜在クラス分析による学校教員の心理的職務状態の分類 —バーンアウト症状と職務負荷認知および専門性向上意識を変数として— ○ 磯和壮太郎 1 (1 名古屋芸術大学)
今井田貴裕 2 (2 仁愛大学)
- A2-10 選択法によるTCT創造性検査の課題の性質 —課題ごとの測定内容の検討— ○ 高下梓 1 (1 松本看護大学)
岸学 2 (2 東京学芸大学)
黒岩誠 3 (3 明星大学)
- A2-11 中老年における幸福感・うつ・未来展望の比較 —量的調査と老年期の漁師への予備的面接調査— ○ 白石奈津栄 1 (1 岡山大学)
三宅沙侑美 1

ポスター発表 A2・B2・C2 8月27日(水)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

教育・発達・人格

- A2-12 離乳期の我が子の特徴に対する親の説明と幼児期のアタッチメント安定性との関連 ○ 福田佳織 1 (1 東洋学園大学)
森下葉子 2 (2 文京学院大学)
尾形和男 3 (3 放送大学)

健康・看護・医療

- B2-1 継続してきたことの挫折経験は恩恵が大きい—挫折経験の内容と自己成長と苦境耐性— ○ 本多麻子 (東京成徳大学)
- B2-2 高齢潜在看護師によるアドバイスの戦略—Web 版対人関係小集団訓練プログラムでのアドバイス内容の質的分析— ○ 宮島直子 (北海道大学大学院保健科学研究院)
- B2-3 精神科多職種連携の実効性に及ぼす心理的安全性の影響に関する探索的検討— ○ 異儀田はづき 1 (1 立正大学大学院)
古屋健 2 (2 立正大学)

犯罪・社会・文化

- C2-1 推しへの思いにおける性差 ○ 山岡重行 (聖徳大学)
- C2-2 待ち時間を分けることと残り待ち時間を伝えることの効果 ○ 富田瑛智 (帝塚山大学)
- C2-3 大学生における防犯行動の規定要因の検討—計画的行動理論から— ○ 大久保智生 1 (1 香川大学)
- C2-4 男性の伝統的男性性とミソジニーがゲイに対する態度の多次元性に及ぼす影響 ○ 池田満 (南山大学)
- C2-5 犯罪不安には性差があるのか?—犯罪不安,リスク認知,防犯意識,犯罪情報への関心,感情反応に着目して— ○ 皿谷陽子 1 (1 人間環境大学)
今井田貴裕 2 (2 仁愛大学)
- C2-6 夫婦間における家計についての会話の抑制経験 ○ 渡辺伸子 (東北公益文科大学)

産業・交通・災害

- C2-7 信号機のない横断歩道におけるドライバーの一時停止行動の心理的予測因に関する研究—罪悪感、向社会性、違反寛容度の役割— ○ 木村年晶 1 (1 京都橘大学)
古川紘子 2 (2 同志社女子大学)
内山伊知郎 3 (3 同志社大学)
- C2-8 新人のキャリア満足度を高める組織要因の二重経路—組織的インクルージョンと内部者地位知覚の効果の比較— ○ 山本しおり 1 (1 アフラック生命保険株式会社)
竹内規彦 2 (2 早稲田大学商学大学院)

ポスター発表 C2 8月27日(水)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

産業・交通・災害

- | | | | |
|-------|--|----------------------------|----------------------------|
| C2-9 | 組織におけるサポートのパワーハラスメント抑制効果 —自己愛に注目したパワーハラスメント6類型別検討— | ○ 仙波亮一 | (京都橘大学) |
| C2-10 | 組織社会化過程における新規学卒者の社会的スキルの役割 —縦断調査による連鎖媒介モデルの検討— | ○ 竹内倫和 | (学習院大学) |
| C2-11 | 多次元尺度構成法による大阪府堺市銘菓の心理的特徴可視化の試み | ○ 秋保亮太
中村早希
大本浩司 | (1 帝塚山学院大学) |
| C2-12 | 変革型リーダーシップと高業績HRMシステムが経営理念の浸透を通じて従業員のモチベーションに与える影響 —製造業の従業員における検証— | ○ 脇坂正和
竹内規彦 | (1 早稲田大学商学学術院) |
| C2-13 | 安全教育参加に伴う保護者の危険認識の変化の理由 —交通安全教育の効果評価の視点に関する考察— | ○ 大谷亮 | ((一財)日本自動車研究所) |
| C2-14 | 公正世界仮説と他者のヒューマンエラーへの許しとの関連 —怪我の有無と完全主義の個人差の影響— | ○ 森泉慎吾 | (帝塚山大学) |
| C2-15 | 広告における緊急性の表示が購買意図に及ぼす影響 —カウントダウンタイマーの表示は商品の魅力を掻き立てるか?— | ○ 小島弥生 | (北陸大学) |
| C2-16 | 自動運転技術の社会的受容に対する影響要因 | ○ 王 晋民 | (千葉科学大学) |
| C2-17 | 状況に着目したコンピテンシーモデルのフレーム | ○ 片岡大輔 | (株式会社日本能率協会
マネジメントセンター) |

ポスター発表 C2 8月27日(水)

8号館地下1階ホール

在席責任時間: 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

スポーツ・生理

- C2-18 フェンシング審判員の審判活動における参加動機
の構造 ○ 佐藤秀明 1 (1 日本大学)
来田宣幸 2 (2 京都工芸繊維大学)
権野めぐみ 3 (3 名古屋葵大学)
- C2-19 高校部活動における倫理的指導の構築と生徒の
ウェルビーイング: ○ 伊藤将史 1 (1 近江兄弟社高等学校)
大門耕平 2 (2 東北学院大学)
山本ちさと 3 (3 洛和会音羽リハビリテ
ーション病院)
権野めぐみ 4 (4 名古屋葵大学)
来田宣幸 5 (5 京都工芸繊維大学)
- C2-20 姿勢制御における開眼・閉眼の影響 一乱数生成
課題と重心動揺計測の関係から— ○ 板垣文彦 1 (1 国立病院機構 東京医
療センター)
鹿内菜穂 2 (2 亜細亜大学)
須永範明 3 (3 日本大学)
- C2-21 大学競泳選手版自己調整学習方略尺度作成の
試み ○ 高井美莉衣 1 (1 日本大学大学院)
種ヶ嶋尚志 1

教育発表 D2 8月27日(水)

8号館地下1階ホール

在席責任時間： 奇数番号(前半)9:40~10:25

偶数番号(後半)10:25~11:10

教育発表

- | | | | |
|------|--|-------------------------------------|----------------------------|
| D2-1 | 運転自己調節行動に影響を及ぼす諸要因の探索的検討 | ○ 福井匠流 山村豊 | (1 桜美林大学教育探究科学群) |
| D2-2 | 創造的自己信念と諸要因の関係の検討—偏相関による分析— | ○ 小松駿 時田学 | (1 日本大学商学部) |
| D2-3 | 生と死に対する欲尺度(LADDS)の開発—探索的因子分析から— | ○ 小鹿柚祐 今井田貴裕 2 | (1 人間環境大学心理学部)
(2 仁愛大学) |
| D2-4 | 青年期におけるアイデンティティ発達と集団へのコミットメントとの関連 | ○ 本田直人 時田学 | (1 日本大学商学部) |
| D2-5 | 「キモかわいい」は人を甘やかすか? ~かわいさの新たな心理効果の検討~ | ○ 宮優作 齋藤拓心 岡田佳穂 井上裕珠 | (1 日本大学商学部) |
| D2-6 | セルフオーダーがカロリー選択に与える意外な影響 | ○ 長瀬華 阿部美乃 荒井香凜 井上裕珠 | (1 日本大学商学部) |
| D2-7 | 企業の炎上は本当に悪か? —倫理的炎上が低関与消費者の購買意欲に与える影響— | ○ 佐々木大輔 浅岡陽 市東紫月 前田直太郎 井上裕珠 | (1 日本大学商学部) |

教育発表 8月27日(水)

D2-1

運転自己調節行動に影響を及ぼす諸要因の探索的検討

キーワード: 高齢ドライバー, 運転自己調節行動, 属性

福井匠流¹ 山村豊¹

(¹ 桜美林大学教育探究科学群)

発表要旨

健康で安全かつ自立的な移動性の確保は超高齢社会の重要課題であり、安全運転継続のための努力を行う意識を高める必要がある。本研究では、高齢者の運転自己調節行動に着目し、「高齢者講習」受講者約9000人を対象に、運転自己調節に関する7項目の行動を調査した。各項目について、属性、運転や運転目的、運転継続の意思、運転に対する態度、QOLなどの回答とのクロス集計を行い、 χ^2 検定と残差分析を行い効果量(Cramer's V)を算出した。まず、属性については、女性のほうが自己調節を行っている回答が有意に多く、70歳以下とサポカー乗り換えやドラレコ利用との関連が見られた。また、QOLに関する5項目(5件法、分析の際に1~2を「低位群」、3を「中位群」、4~5を「高位群」に統合)と運転自己調節の関連が見られた。とりわけ、「運動機能を維持するために運動やスポーツを行っている」という自己調節と各QOLとの間に有意な関連が見られた。一方で、総じて自己調節を「特に何も行っていない」回答者はQOLが低い傾向があった。本分析より、運転自己調節は性別、年齢の特徴があり、QOLを高める自己調節行動がある可能性が示唆された。

D2-2

創造的自己信念と諸要因の関係の検討

—偏相関による分析—

キーワード: 創造性, 創造的自己信念(CSBs), 教育

小松駿¹, 時田学¹

(¹ 日本大学商学部)

発表要旨

この研究は、創造的自己信念(CSBs)とその関連要因の包括的検討を目的とした実証研究である。現代社会において創造性の重要度が増す中、近年特に自身の創造性に対する信念であるCSBsが注目されている。従来の創造性研究は領域特異性を無視したテストに依存していたが、CSBsは比較的ドメイン特異性が低く、教育現場での活用が期待される。しかし、CSBsは比較的新しい研究領域であり、包括的なモデルや他要因との関係の研究が不足している。そこで本研究では、2025年に質問紙調査を実施し、SSCS-J(Short Scale of Creative Self)を用いてCSBsを測定するほか、ビッグファイブ性格特性、創造的マインドセット、楽観性、動機づけ調整方略、認知的柔軟性と持続性、マインドワンダリング傾向、時間的圧力などの関連要因を包括的に測定する。分析では偏相関を用いて、各要因間関係やCSBsへの影響の大きさの比較をする。本研究により、CSBsと諸要因の関係が明らかになり、創造性とCSBsの性質の違いやCSBsの醸成への実践的示唆が得られることが期待される。

教育発表 8月27日(水)

D2-3

生と死に対する欲尺度(LADDS)の開発

—探索的因子分析から—

キーワード: 生に対する欲, 死に対する欲, 尺度作成

小鹿柚祐¹, 今井田貴裕²

(¹人間環境大学心理学部, ²仁愛大学)

発表要旨

自殺や自傷のリスクのある人々は、「生きたい」と「死にたい」欲求に葛藤すると考えられる。しかし、既存の尺度では、死に対する評価や感情、行動傾向を含むものが多く(e.g., 丹下, 1999; 平井・坂口, 2000), 自傷や自殺のリスクのある人々へのアセスメントに適しているとは言い難い。そこで本研究では、生と死に対する欲を測定する46項目を既存の尺度から抽出し、一般健常群741名(男性228名, 女性512名)を対象に調査した。平均年齢は24.36歳(SD = 3.46)であった。基礎統計量の見当と探索的因子分析の結果、生に対する欲として、生に対する思慮($\alpha = .77$)および生に対する追求($\alpha = .85$), 肯定的未来志向($\alpha = .90$)3因子構造が、死に対する欲として、死に対する思慮($\alpha = .87$)および死に対する追求($\alpha = .92$), 否定的未来志向($\alpha = .90$)の21項目の3因子構造が示され、信頼性係数も良好であった。以上を生と死に対する欲尺度(Life and Death Desire Scale)命名した。今後、自殺や自傷のリスクのある人々の生と死に対する欲の多寡を検討する必要がある。

D2-4

青年期におけるアイデンティティ発達と集団へのコミットメントとの関連

キーワード: アイデンティティ, コミットメント, 集団

本田直人¹, 時田学¹

(¹ 日本大学商学部)

発表要旨

青年期は集団経験を通じアイデンティティを形成する重要な時期であるとされる(Erikson, 1959)。しかし集団経験とアイデンティティの関連研究は宮下(1998)以降乏しく、尺度の妥当性や関与の質的側面の検討が不十分だった。本研究は、青年期のサークル集団へのコミットメントが、多次元的自我同一性尺度(MEIS; 谷, 2001)の諸側面との関連を明らかにする。さらに、サークル集団の特性である集団フォーマル性(新井, 2004)と集団凝集性(橋本・唐沢・磯崎, 2010)が、この関連に及ぼす影響も検討する。仮説は、(1)サークルコミットメント(橋本・唐沢・磯崎, 2010)が高いほど MEIS の特定側面(対他的・心理社会的同一性)及び総合点が向上する、(2)集団フォーマル性・凝集性とアイデンティティ得点の正の関連である。N 大学サークル所属学生約200名程度を対象に、MEIS(谷, 2001), サークルコミットメント尺度(橋本・唐沢・磯崎, 2010), 集団フォーマル性尺度(新井, 2004), 集団凝集性尺度(橋本・唐沢・磯崎, 2010)を用いた質問紙調査を行う。本研究は、青年期の集団経験とアイデンティティ形成の具体的プロセス解明を検討する。

教育発表 8月27日(水)

D2-5

「キモかわいい」は人を甘やかすか？
～かわいさの新たな心理効果の検討～
キーワード:かわいい,キモかわいい,自己甘やかし行動
宮優作¹, 齋藤拓心¹, 岡田佳穂¹, 井上裕珠¹
(¹ 日本大学商学部)

発表要旨

近年、「かわいい」という言葉はその意味と対象を拡張し続けており、「キモかわいい」や「ダサかわいい」など、反義的要素を含む複合語も一般化している。2025年の大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」にも、「気持ち悪いのにかわいい」という評価がSNS上で多く見られ、現代の「かわいさ」の多様化を象徴する事例といえる。従来の「かわいい」に関する研究は、Lorenz(1943)が提唱したベビースキーマに基づく幼い特徴を持つ対象が、自制的・利他的行動を引き出すことに焦点を当ててきた(Nittono & Ihara, 2017)。一方、Nenkov & Scott(2014)は「面白いかわいさ」が人を自分に甘くする行動に向かわせることを示し、かわいさが必ずしも自制心を促すとは限らないことを明らかにした。本研究では、この「面白いかわいさ」の概念をさらに発展させ、特にネガティブな要素を含む「キモかわいい」という感性が、消費者の自己甘やかし行動に及ぼす影響を検証する。これにより、かわいさが持つ心理的効果に関する理解を深め、Nenkov & Scott(2014)による先行研究を発展させることが期待される。実験方法および実験結果の詳細は、発表当日に報告する。

D2-6

セルフオーダーがカロリー選択に与える意外な影響
キーワード:摂食行動、メニュー選択、瘦身願望
長瀬華¹, 阿部美乃¹, 荒井香凜¹, 井上裕珠¹
(¹ 日本大学商学部)

発表要旨

近年、飲食店でセルフオーダーシステムの導入が進み、他者と対面せずに注文できる環境が一般化しつつある。清原ら(2012)は、女性は男性よりも瘦身願望が高いことを示しており、その背景には自己肯定感の低さや「痩せ=魅力的」とする固定観念があるとされる。本研究では、他者の目を気にせずに済むセルフオーダー環境において、女性の合計カロリー摂取量が対面注文時より高くなると予測した。さらに、異性の店員に対する対面注文では、同性の場合よりもカロリー摂取量が低下する傾向があると考えられる。また、公的自己意識が高い女性ほど、セルフオーダー時においてその傾向が顕著になると予測される。一方、男性は公的自己意識の高低にかかわらず、注文方法によるカロリー摂取量の差は小さいと考えられる。心理学実験方法および結果は当日報告する。

教育発表 8月27日(水)

D2-7

企業の炎上は本当に悪か？

—倫理的炎上が低関与消費者の購買意欲に与える影響—

キーワード: 炎上、倫理的炎上、ブランド・コミットメント

佐々木大輔¹，浅岡陽¹，市東紫月¹，前田直太郎¹，井上裕珠¹

(¹ 日本大学商学部)

発表要旨

SNS などのソーシャルメディアの発達により、企業は製品やサービスの情報を容易に発信できるようになった。その一方、不適切な投稿や対応によって「炎上」するリスクも増大している。企業の炎上は、一般に顧客離れや売上低下といったネガティブなイメージと結びつけられることが多いが、必ずしも全ての炎上が悪影響をもたらすとは限らない。

本研究はポジティブな影響を考えにくい、製品の機能的欠陥に基づく炎上 (Dawar & Pillutla, 2000) ではなく、企業 SNS での不適切な発言など、消費者の価値観に関わる倫理的炎上 (Pullig et al., 2006) に焦点を当てる。倫理的炎上は高関与消費者のブランド信頼度とブランド好感度を低下させると知られているが (Hayran & Ceylan, 2023)、低関与消費者にはユーモラスだと知覚される可能性があり、むしろそれが購買意欲を高めるのではないかと考える。

本研究では「企業の倫理的炎上が消費者の購買意欲に与える影響」に着目し、企業の倫理的炎上は、低関与消費者のユーモラスな知覚を促進し、さらに購買意欲を向上させると予測する。実験方法および調査結果の詳細は、発表当日に報告する。

氏名索引(研究発表)

【ア】

秋保 亮太 アキホ リョウタ 29

【イ】

井梅 由美子 イウメ ユミコ 23
 井川 純一 イガワ ジュンイチ 24
 異儀田 はづき イギタ ハヅキ 28
 池田 琴恵 イケダ コトエ 24
 池田 満 イケダ ミツル 28
 磯和 壮太郎 イソワ ソウタロウ 27
 板垣 文彦 イタガキ フミヒコ 19, 30
 伊藤 将史 イトウ マサシ 19, 30
 稲野辺 奈緒子 イナノベ ナオコ 27
 井上 航人 イノウエ コウト 26
 井上 真郷 イノウエ マサト 27
 井上 雄貴 イノウエ ユウキ 25, 26
 井上 裕珠 イノウエ ユミ 27, 31, 34, 35
 今井 靖雄 イマイ ヤスオ 25
 今井田 貴裕 イマイダ タカヒロ 23, 27, 28, 31, 33
 岩崎 翔 イワサキ ショウ 22, 23
 岩藤 和広 イワドウ カズヒロ 27

【ウ】

上田 仁 ウエダ ジン 24
 浮谷 秀一 ウキヤ シュウイチ 18
 内田 誠也 ウチダ セイヤ 24
 内堀 恵美 ウチボリ エミ 23
 内山 伊知郎 ウチヤマ イチロウ 28

【オ】

及川 昌典 オイカワ マサノリ 27
 王 晋民 オウ シンミン 29
 扇原 貴志 オウギハラ タカシ 27
 大門 耕平 オオカド コウヘイ 22, 30
 大久保 千恵 オオクボ チエ 23
 大久保 智生 オオクボ トモオ 28
 大関 貴久 オオゼキ タカヒサ 26
 大谷 亮 オオタニ アキラ 19, 29
 大橋 恵 オオハシ メグミ 23

大藤	潤也	オオフジ	ジュンヤ	26
大森	哲至	オオモリ	テツジ	25
岡崎	祐史	オカザキ	ユウジ	26
尾形	和男	オガタ	カズオ	28
小川	久貴子	オガワ	クキコ	27
越智	淳子	オチ	ジュンコ	19
【カ】					
片岡	大輔	カタオカ	ダイスケ	29
加藤	博己	カトウ	ヒロキ	19
加藤	佳子	カトウ	ヨシコ	23
軽部	幸浩	カルベ	ユキヒロ	25,26
【キ】					
岸	学	キシ	マナブ	27
来田	宣幸	キダ	ノリユキ	19,22,23,30
木村	年晶	キムラ	トシアキ	28
桐生	正幸	キリウ	マサユキ	22,23
【ク】					
工藤	咲	クドウ	サキ	24
久保	尚也	クボ	ナオヤ	27
黒岩	誠	クロイワ	マコト	27
【コ】					
幸田	仁志	コウダ	ヒトシ	23
小鹿	柚祐	コジカ	ユズユ	23,31
小島	治幸	コジマ	ハルユキ	25
小島	弥生	コジマ	ヤヨイ	29
小菅	英恵	コスゲ	ハナエ	19
小西	奈美	コニシ	ナミ	23
駒田	淑久	コマダ	トシヒサ	22
紺野	剛史	コンノ	タケシ	22
権野	めぐみ	ゴンノ	メグミ	19,22,30
【サ】					
阪本	麻郁	サカモト	マヤ	22
佐藤	秀明	サトウ	ヒデアキ	30
皿谷	陽子	サラガイ	ヨウコ	28

【シ】

鹿内	菜穂	シカナイ	ナオ	19,30
設楽	一碩	シダラ	カズヒロ	22,23
島田	恭子	シマダ	キョウコ	22,23
清水	佐紀	シミズ	サキ	23
下條	朝也	シモジョウ	アサヤ	22
白石	奈津栄	シライシ	ナツエ	27
新里	知佳野	シンザト	チカノ	25,26
新保	智之	シンボ	トモユキ	25

【ス】

菅野	智子	スガノ	トモコ	25
杉山	聡一	スギヤマ	ソウイチ	23
須永	範明	スナガ	ノリアキ	19,30

【セ】

仙波	亮一	センバ	リョウイチ	29
----	----	-----	-------	-------	----

【タ】

大本	浩司	ダイモト	ヒロシ	29
高井	美莉衣	タカイ	ミリイ	30
高下	梓	タカシタ	アズサ	27
高橋	浩子	タカハシ	ヒロコ	19
高橋	良博	タカハシ	ヨシヒロ	19
竹内	倫和	タケウチ	トモカズ	29
竹内	規彦	タケウチ	ノリヒコ	25,28,29
田中	共子	タナカ	トモコ	24
田中	英明	タナカ	ヒデアキ	24
谷口	淳一	タニグチ	ジュンイチ	24
谷口	まち子	タニグチ	マチコ	24
種ヶ嶋	尚志	タネガシマ	ヒサシ	30
田宮	憲	タミヤ	ケン	25

【ト】

藤後	悦子	トウゴ	エツコ	23
時田	学	トキタ	ガク	22,31,32,33
富田	瑛智	トミタ	アクトシ	28

【ナ】

中尾	達馬	ナカオ	タツマ	24
----	----	-----	-----	-------	----

中谷	智美	ナカタニ	トモミ	23
中西	誠	ナカニシ	マコト	19
中野	友香子	ナカノ	ユカコ	19
中村	早希	ナカムラ	サキ	29
Nagongbiling		ナゴビリン	19
成井	隆友	ナルイ	タカトモ	22
【ハ】					
橋元	真央	ハシモト	マオ	19
林	潔	ハヤシ	キヨシ	19
【ヒ】					
廣島	克佳	ヒロシマ	カツヨシ	24
【フ】					
福井	義一	フクイ	ヨシカズ	23
福田	佳織	フクダ	カオリ	28
藤田	主一	フジタ	シュイチ	18,22,25,26
古川	紘子	フルカワ	ヒロコ	28
古澤	伸晃	フルサワ	ノブアキ	25,26
古屋	健	フルヤ	タケシ	27,28
【ホ】					
堀	孝司	ホリ	タカシ	23
本多	麻子	ホンダ	アサコ	28
【マ】					
巻田	晴香	マキタ	ハルカ	27
松浦	均	マツウラ	ヒトシ	24
松沼	悟	マツヌマ	サトシ	27
松尾	由美	マツオ	ユミ	27
【ミ】					
三島	斉紀	ミシマ	ムネノリ	22
三宅	沙侑美	ミヤケ	サユミ	24,27
宮島	直子	ミヤジマ	ナオコ	28
【ム】					
村田	康德	ムラタ	ヤスノリ	23
村山	陽	ムラヤマ	ヨウ	23

【モ】

本村	明嘉	モトムラ	ハルカ	24
百田	尚史	モモタ	ナオヒト	25,26
森泉	慎吾	モリイズミ	シンゴ	29
森下	葉子	モリシタ	ヨウコ	28
森本	康太郎	モリモト	コウタロウ	27
森脇	保彦	モリワキ	ヤスヒコ	26

【ヤ】

八木沢	誠	ヤギサワ	マコト	25,26
山岡	重行	ヤマオカ	シゲユキ	18,28
山野	洋一	ヤマノ	ヨウイチ	24
山村	豊	ヤマムラ	ユタカ	25,31,32
山本	睦	ヤマモト	チカ	27
山本	しおり	ヤマモト	シオリ	28
山本	ちさと	ヤマモト	チサト	30

【ヨ】

吉岡	隆宏	ヨシオカ	タカヒロ	22,23
----	----	------	------	-------	-------

【リ】

李	同帰	リ	トキ	19,24
劉	徳嘯	リュウ	トクショウ	25

【ワ】

脇坂	正和	ワキサカ	マサカズ	29
和田	万紀	ワダ	マキ	19
渡辺	伸子	ワタナベ	ノブコ	28

氏名索引(教育発表)

浅岡陽	31,35	佐々木大輔	31,35
阿部美乃	31,34	市東紫月	31,35
荒井香凜	31,34	長瀬華	31,34
岡田佳穂	31,33	福井匠流	31,32
小鹿柚祐	31,33	本田直人	31,33
小松駿	31,32	前田直太郎	31,35
齋藤拓心	31,33	宮優作	31,34

(敬称略)

日本応用心理学会第91回大会

賛助団体等ご芳名

本大会を開催するにあたり、以下のとおり、諸団体・企業の皆さまからご協賛および多大なご支援を賜りました。深く感謝し、御礼申し上げます。

一般社団法人ココロバランス研究所

株式会社北大路書房

株式会社クロス・マーケティング

株式会社ナカニシヤ出版

東洋大学桐生研究室

福村出版株式会社

富士通株式会社

(敬称略／五十音順)

2025年7月吉日

日本応用心理学会第91回大会

委員長 桐生正幸

日本応用心理学会第91回大会委員会

大会事務局

委員長	桐生 正幸	東洋大学社会学部
事務局長	高 史明	東洋大学社会学部
統括代表	上市 秀雄	筑波大学システム情報系

大会委員

入山 茂	東洋大学現代社会研究所
長内 範子	株式会社 Xbee
紺野 剛史	富士通株式会社コンバージングテクノロジー研究所
島田 恭子	一般社団法人ココロバランス研究所
平井 佑美	東洋大学社会学部

スタッフ

多胡 叶奈美	東洋大学大学院社会心理学専攻
大高 実奈	東洋大学大学院社会心理学専攻
山口 ゆうと	東洋大学大学院社会心理学専攻
汪 楽琳	東洋大学大学院社会心理学専攻
大川 明李	東洋大学大学院社会心理学専攻
濱田 龍	東洋大学大学院社会心理学専攻
日高 舞子	東洋大学大学院社会心理学専攻
杉本 たまき	東洋大学大学院社会心理学専攻
中井 きらら	東洋大学大学院社会心理学専攻
大門 渚紗	東洋大学大学院社会心理学専攻
高橋 拓真	東洋大学大学院社会心理学専攻

特別顧問

軽部 幸浩	東京富士大学経営学部
-------	------------

日本応用心理学会第91回プログラム

発行日：2025年7月31日

発行者：日本応用心理学会

第91回大会委員長 桐生正幸

112-8606

東京都文京区白山 5-28-20



一般社団法人
ココロバランス研究所

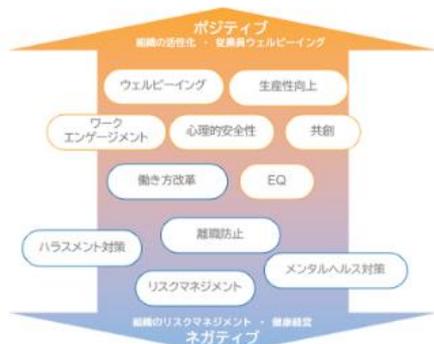
お問い合わせはこちら



info@kokorobalance.jp



https://kokorobalance.jp



学術と絆で あんしんいきいきをつくる

個人のウェルビーイングから組織の価値向上まで
私たち心理学、行動科学、実務の専門家集団が
科学的なエビデンスを用いてかなえます

【事業】

格付け認証制度



あんしんいきいき職場格付け認証
A&i Certification

学術的知見（心理学・保健学・経営学・行動経済学等）に基づき、従業員があんしんいきいきと働けるよう、組織としての対応や従業員のメンタルヘルスを評価し格付け認証する制度を行っています。

講演研修・組織支援・アドバイザー

カスタマーハラスメント・ウェルビーイング・心理的安全性・組織活性化・リスクマネジメント・組織内不正等専門領域に基づく講演・研修・アドバイザーを行っています。

2025年7月10日、「あんしんいきいき職場格付け認証」を取得した企業・団体およびゲストが一堂に会し、「あんしんいきいきラボ」第一回研究会が開催されました。本研究会では、各組織が直面するカスタマーハラスメント（以下、カスハラ）対策の課題を共有し、先進的な知見を交換することで、参加者間の「横のつながり」を醸成し、業界全体の対策レベルの向上などが検討されました。

第 21 回
2025

一般社団法人日本心理学諸学会連合 認定

心理学検定

心理学の基礎知識を身につける。実力を試す。

試験会場でコンピュータを用いて解答するCBT形式の試験です。
全国47都道府県にある試験会場からご都合の良い試験会場・日時を選ぶことができます。

● 試験期間

2025年 7月15日 ㊦ より 8月31日 ㊦

心理学検定は、心理学に関連する 50 以上の学会が加盟する日本心理学諸学会連合が認定する唯一の検定です。

検定は、春試験（2月中旬～3月末）／夏試験（7月中旬～8月末）の年2回開催しています。試験開催期間中、ご都合の良い日時や試験会場を予約して受検することができます。具体的な日程は随時ホームページに掲載いたします。

<https://jupaken.jp/>

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

https://www.kitaohji.com(価格税込)

人についての柔らかな理解

一本当は〈温かい〉クリティカル・シンキングー 吉田寿夫著 A5・384頁・定価3960円 人は様々な「決めつけ・思い込み」を意識せずに行っている。それは、他者や自分が傷ついたり人間関係が悪化したりすることに強く関わっている。決めつけや思い込みから脱し、人を柔らかに冷静に理解するための視点や考え方を、具体策を交えながら提言する。

経験サンプリング法入門

一集中的縦断研究のデザインと分析を学ぶー ナイアル・ボルジャー、ジャン＝フィリップ・ロレンソ著 尾崎由佳訳 A5・264頁・定価3850円 調査対象者の行動・感情データをリアルタイムで短期間に繰り返し収集する、経験サンプリング法や日誌法の手引書。研究デザインの選択、得られたデータの扱い方と関連する統計学的知識、理論のモデル化を解説。

非認知能力の発達

一生涯にわたる変化と影響ー 小塩真司編著 A5・336頁・定価2970円 非認知能力はどのように発達するのか。教育的・養育的関わりを含めたさまざまな人間関係やライフイベントの影響のもと、心理特性相互の関連性にも着目しつつ、人生全体にわたって変化するものとして捉える。発達概念とあわせもつ多様な意味を考える奥深さへといざなう。

テキスト 司法・犯罪心理学

越智啓太、桐生正幸編著 A5上製・632頁・定価6380円 本物の犯罪心理学を学ぶための骨太な教科書。「犯行動」[捜査・防犯・矯正]の2部で構成。プロファイリング、ポリグラフ検査、目撃証言、取調べなど、行動科学的な犯罪心理学を中心に、実証的知見を数多く取り入れて編集。日本における真の犯罪心理学者の姿が浮かぶ仕掛け。

障害という経験を理解する

一社会と個人へのアプローチー ダナ・S・ダン編著 勝谷紀子、佐藤剛介、柴田邦臣、高山亨太監訳 A5・480頁・定価8800円 障害という経験は個人の心身機能や資質よりも、社会的障壁や他者の態度・行動といった状況要因に大きな影響を受けて形づくられる。社会心理学やリハビリテーション心理学等の多様な切り口から障害経験の理解を試みる。

心理学・教育学研究のための効果量入門

一Rを用いた実践的理解ー 中村大輝著 A5・232頁・定価3520円 ジャーナルでの研究報告に求められる効果量とその信頼区間について、理論から実践まで体系的に学べるテキスト。効果量の定義、計算方法、解釈や統合の方法、効果量に基づくサンプルサイズ設計の方法を、Rコードと論文での実際の記載例を交えて紹介。

人はいかに学ぶのか

一授業を変える学習科学の新たな挑戦ー 全米科学・工学・医学アカデミー編 秋田喜代美、一柳智紀、坂本篤史監訳 A5・396頁・定価4620円 『How People Learn (邦題：授業を変える)』から20年の間で明らかになった知見に基づき再構成された最新版。脳科学・神経科学、動機づけ研究や文化等多様な切り口から人の「学び」に迫る。

シリーズ 心理学と仕事18 司法・犯罪心理学

太田信夫監修 桐生正幸編集 A5・160頁・定価2310円 誕生からまだ歴史の浅い「司法・犯罪心理学」の定義や理論、研究と実務などを説明し、関連する各組織における具体的な仕事と研究知見、防犯、具体的な犯罪について解説。基本と応用の両面から捉え、国家資格「公認心理師」めざす人のために幅広い視点で学べるよう構成を工夫。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事 (全20巻) 完結！ シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148～232頁・定価2200～2530円

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

2025年8月刊

カスタマーハラスメント 心理的安全をどう守るか

カスタハラ対策の研究・実践・事例
桐生正幸、島田恭子 編著

■A5判/並製/248頁 ○定価 3,300円
心理学的視点と事例でカスタハラの歴史・実態・対策を解説。AI・データ可視化など最新手法を網羅。



恋愛と結婚の心理学

恋愛心理学研究の現在地
高坂康雅 著

■A5判/並製/244頁 ○定価 2,750円
近年の研究成果をもとに『恋愛心理学特論』を大幅改訂。刷新された構成とデータで迫る異性恋愛の“今”。



新・脳から始めるこころの理解

心理学・脳科学による心の見方
安部博史 編著

■A5判/並製/266頁 ○定価 3,080円
大学生や臨床現場の担当者に向け、心理学・脳科学の知見からAIやネット依存まで網羅した「脳」の入門書。



生涯発達の心理学

理論と実践への誘い
大川一郎、安藤智子 編著

■A5判/並製/300頁 ○定価 3,080円
生涯発達心理学の基礎から高度な知識まで網羅。2色刷、豊富な図表、コラムと読書案内で教科書にも参考書にも。



心理臨床における「見立て」

こころの支援にむけて
見立ての本質的意味を探究する
高橋靖恵 監修 西見奈子 編

■A5判/上製/164頁 ○定価 2,970円
いかにしてクライアントのこころの核心を見立てて支援に結び付けるか。その本質的意味を探究する。



行動と変化を促す キャリアカウンセリング&ガイダンス

クライアントの可能性を引き出す行動支援
渡部昌平 編著

■A5判/並製/248頁 ○定価 3,520円
行動と変化を促すキャリアカウンセリングの重要性を説き、現状分析から理想実現の行動計画までの手法を示す。



基本から学ぶ 発達と教育の心理学

藤田圭一 編著

■A5判/並製/204頁 ○定価 2,860円
教職課程の基本テキスト『新発達と教育の心理学』の全面改訂版。わかりやすい最新の内容で初学者に最適。



老年臨床心理学ハンドブック

日本老年臨床心理学会 企画 長嶋紀一 監修
山中克夫、松田修、黒川由紀子 統括編集
扇澤史子、長田久雄、小野寺敦志、加藤伸司、北村世都
佐藤真一、志村ゆず、下垣光、内藤佳津雄、西村嘉子 編集

■B5判/上製/672頁 ○定価 30,800円
多領域にわたる応用・実践研究を網羅し、超高齢社会に対応する臨床心理学の概念を第一線の専門家が詳説。



プロセス・ファシリテーション

人と人、人と社会がつながって育つ、
人間関係づくり体験学習プログラム
林芳孝 著

■A5判/並製/236頁 ○定価 2,970円
人間関係づくりを楽しく実践的に学べる、ファシリテーションのための16の体験学習プログラムを紹介する。



新・消費者理解のための 心理学(第2版)

永野光朗、秋山学 編著

■A5判/並製/304頁 ○定価 2,970円
消費者行動の心理学的・経済学的側面を解明し、今日のマーケティング戦略に役立つ知識を提供する。



心理学入門

生物・個人・社会を融合するこころの科学
広重佳治 著

■A5判/並製/216頁 ○定価 2,200円
重要なキーワードで章を構成。最新の情報、豊富な図表と多彩なコラム、設問がこころの機序を解き明かす。



研究法がアートと出会うとき

アートベース・リサーチへの招待
パトリシア・リーヴィー 著
岸磨貴子、東村知子、久保田賢一 訳

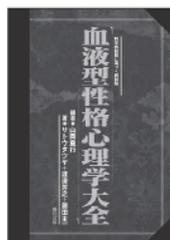
■A5判/並製/396頁 ○定価 6,930円
アートベース・リサーチは学術論文の限界を超え、研究を社会にひらく。その実践法を豊富な実例を交え解説。



誰にも言えない汗の悩み

多汗症のための心理学的・医学的サポート
藤後悦子、山極和佳 編著
NPO法人多汗症サポートグループ 協力

■A5判/並製/208頁 ○定価 2,200円
汗で困っている人必読！汗の悩みの数々を紹介し、心理学・医学の専門家が多汗の対処法をアドバイスする。



血液型性格心理学大全

科学的証拠に基づく再評価

山岡重行 編著
サトウタツヤ、渡邊芳之、藤田圭一 著

■A5判/上製/360頁 ○定価 4,950円
血液型ブームが去った現在、あらためて血液型と性格の関連を再評価し、ブームの実態を心理学的に検証する。



福村出版

〒104-0045 東京都中央区築地4-12-2
TEL 03-6278-8508 FAX 03-6278-8323

○定価は税込み価格です。

<https://www.fukumura.co.jp>

はじめよう！心理学研究

「テーマが決まらない」を乗り越える
浦上昌則・藤田知加子・解良優基 編著
マンガと対話を手がかりに「研究とは何か」
「テーマをどう探すか」を考える。1980円

やさしく学ぶ教育心理学

一人と人のつながりを求めて
栗川直子・浜崎隆司 編著
人と人の関係を重視した教科書。理論編
与实践編の二部構成。2530円

グローバル時代の教育相談

多様性の中で生きる子どもと教師
大家まゆみ・稲垣勉 編
多文化共生社会における多様性を尊重する
教育相談とは？ 2530円

岡本祐子著作集第一巻

中年からの
アイデンティティ心理学
—成人期の危機と発達
岡本祐子 著 3960円

チーム・ダイナミックス の行動科学

—組織の生産性・安全性・創造性を高める
鍵はどこにあるのか
山口裕幸 編著 3630円

多変量解析のための SPSS操作マニュアル

—解析手順から結果解釈の書き方まで
明石法子・岸田拓也・花塚優貴・天野成昭 著
身近な題材で理解を深めよう。2970円

みんなが知りたい 脳と心のつながり

—よりよい人生にするための行動科学入門
坂本敏郎・上北朋子 著
人生に役立つ入門テキスト。2750円

保育のためのやさしい 教育心理学【第2版】

高村和代・安藤史高・小平英志 著
子どもの見方を身につけるために、教育心
理学は役に立つ！ 2090円

学級経営の心理学

—子どもと教師がともに成長するために
三割洋子・越良子 編著
子ども、教師、集団の心理的ダイナミックスを実
証研究から説明。2860円

新版K式発達検査2020による 子どもの理解と発達支援

—初版から2020年版まで変わったこと
と変わらないうこと
郷間英世・清水里美・清水寛之 編 3630円

コミュニケーション の社会心理学

—伝える・関わる・動かす
岡本真一郎 編
最先端の研究を幅広く解説。3520円

フリー統計分析ツール HADのトリセツ

—心理学データの分析から結果のまとめ
方まで 横田晋大 著
見たまま簡単！徹底マニュアル。3520円

キャリア心理学強み デザインガイドブック

—「自分にワクワクできるワークショップ」
をつくる
新免玲・杉山崇 著 2200円

学校コミュニティにおける スクールカウンセラーの 心理・社会的支援

坪田祐季 著 3300円

キャリアを支える教職入門

—ワークで探るこれからの教師と学校
小川翔太・久野弘幸 編著
教職の仕事や学校の最新動向への理解を深め
て進路をじっくり考えよう。2530円

なぜ子どもはミニカー に乗ろうとするのか

—スケールエラーからみる幼児期の物体
認識の発達心理学
石橋美香子 著 4180円

芸術鑑賞の心理学

—展示照明や特殊レンズの効果を探る
西川恵 著
作品をより美しく見せる明るさとは。より
良い芸術鑑賞の実現方法を探る。5280円

すいすい学べる 認知行動療法

—行動療法の基本と認知療法、マインドフ
ルネス
松野航大・嶋大樹・原真太郎 著 2530円

人間関係の学び方

—人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー
方式の体験学習」の理論と実践
土屋耕治・楠本和彦・中村和彦 編
人間性豊かな関係と社会のために。2750円

社会性の発達心理学

長谷川真里・佐久間路子・林創 編著
重要テーマを第1線の研究者が解説。基本を
学びたい読者にも、深く知りたい読者にも有
用なアドバンステキスト。2860円

大学生の学びと成長

—知識他者自分との関係から人生をつくる
河井亨 著
リフレクシオンとラーニングアプリングを軸に
学びと成長の創出を解説。2970円

やさしく学べる 心理統計法入門【再増補版】

—こころのデータ理解への扉その3
鈴木公啓 著
基礎が身につく好評テキスト。2970円

ロールフルネス

—役割満足感の心理学
加藤大樹・鈴木美樹江 著
自分が誰かの役に立っているという実感があ
ると、人は立ち上がる。4840円

京都北山エリア ぐるっと心理学さんぽ

—「心」ってなんだろう？
伊藤一美・向山泰代 編
こころちゃんと歩いて学ぼう。2200円



学術調査ならクロス・マーケティング

研究論文でのリサーチ実績、年間1000件超。
倫理審査もお手伝いいたします。



クロス・マーケティングの展示ブースへお立ち寄りいただいた方限定

❖ ブースご来場特典 ❖

特典
1

無料配布

学術調査の基本とやり方がわかる
実践ガイド



特典
2

限定割引

学術調査 基本料金半額 もしくは
対象者リクルーティング30%OFF



特典
3

プレゼント

オリジナルノベルティ
※数に限りがございます。



※弊社ブースにて名刺交換をさせていただいたお客様限定となります。



詳細は当日のクロス・マーケティング展示ブースまで

お問合せはこちらから 株式会社クロス・マーケティング

☎ 0120-198-022 ✉ academic@cross-m.co.jp

学術調査
特設サイトへは
こちらから



<https://www.cross-m.co.jp/industries/academic-conference>

参加無料

第3回

コンバージングテクノロジー 研究大会

日時：2025/8/26(火) 15:00~17:45

場所：東洋大学 白山キャンパス

8号館地下1階8B11教室
及びオンライン（ハイブリッド開催）

近年の複雑化する社会課題に対して、単一分野の知見だけで解決することは困難になっています。このような課題の解決には、複数の異分野を収斂させる技術（コンバージングテクノロジー）が重要となります。そこで、以下を目的としてコンバージングテクノロジー研究大会を実施いたします。

- ・ デジタル技術と心理学の共同研究の礎を形成し、新たな研究領域を広げていくこと
- ・ 心理学者と企業や行政をつなぎ、心理学の社会実装を目指すこと

第3回となる今回の研究大会では各分野を代表する方々をお招きしご講演頂きます。研究会への入会はありませんので、ご興味のある皆様にお気軽にご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

【プログラム】

- 15:00- はじめに（富士通 プロジェクトディレクター 紺野 剛史）
- 15:10- 「科学技術・イノベーション政策と総合知」
（内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官 永澤 剛氏）
- 15:30- ご挨拶（日本応用心理学会 理事長 京都大学 田中 真介氏）
- 15:40- 「「総合知」に着目した科学技術・イノベーション政策のデザイン」
（科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー 山本 里枝子氏）
- 16:10- 「コンバージングテクノロジーが拓く異分野融合の新地平」
（富士通 フェロー（コンバージングテクノロジー担当） 増本 大器）
- 16:30- 「カスハラ対策における心理学×AIの応用研究と実践」
（一般財団法人ココロバランス研究所 島田 恭子氏 / 富士通 岩崎 翔）
- 16:55- 「北海道大学人間知・脳・AI研究教育センター（CHAIN）における
異分野融合研究の取り組み」
（北海道大学 人間知・脳・AI研究教育センター長 田口 茂氏）
- 17:20- 質疑
- 17:30- 総括（東洋大学 社会学部 教授 桐生 正幸氏）



【参加申込】

参加をご希望の方は、2025/8/25(月)までに、URLまたは右記QRコードよりお申し込みください。

（申込URL：<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/122294>）
定員は250名です。定員になり次第、締め切らせていただきます。



主催：コンバージングテクノロジー研究会（代表：東洋大学 桐生正幸）
運営：富士通株式会社 コンバージングテクノロジー研究所（担当：紺野、吉岡、片桐、有馬）
お問い合わせにつきましては、contact-convtech01@cs.jp.fujitsu.comまでご連絡お願い致します。